

(11) キャリア教育研究会

会 長 矢部 真矢（中村中）
副会長 森 誠樹（東中筋小）
事務局 横山 渉（中村中）

1. 研究主題 「キャリア教育の充実を図る」

2. 研究経過

実施年月日	研究のあらまし	会場	備考
令和6年5月7日（火）	四万十市教育研究会 組織総会 内容：役員選出、研究主題決定、夏季研修計画	中村中	7名参加
令和6年8月2日（金）	四万十市教育研究会 夏季研修会 講師：横内 博之 先生（四国中央市議会議員） 講話：「キャリア教育とその可能性」 演習：三島東中学校 えひめジョブチャレンジ事前研修」体験	中村中	6名参加

3. 今年度の取り組み

今年度の組織総会で夏季研修の内容を検討した結果、愛媛県で取り組んでいるキャリア教育について学習をする方向で話が進み、四国中央市議会議員の横内博之先生を講師に招き、横内先生が講師やファシリテーターとしてかかわっている、三島東中学校での取組を中心に講話・演習の研修を実施した。

4. 令和6年度 四万十市教育研究会 夏季研修会

日時：令和6年8月2日（金）

講師：横内 博之 先生（四国中央市議会議員）

（1）講演「キャリア教育とその可能性」

①キャリア教育で身に付ける能力

自分らしい生き方ができるように勤労観・職業観を育む
どんな仕事を選択しても必要とされる能力

②キャリア教育の可能性

- ・地域活性化の原動力
- ・地元企業と学校の協働
- ・子どもたちの市の魅力発見
- ・地元就職・転職の可能性

人口流出抑制

四国中央市の課題

○人口減少

瀬戸内沿岸では唯一消滅可能性自治体

③企業が人材に求める能力

- | | |
|----------------|--------|
| 1位 コミュニケーション能力 | 2位 主体性 |
| 3位 チャレンジ精神 | 4位 協調性 |
| 5位 誠実性 | |

コミュニケーション能力は
20年間不動の1位
その他も上位5つは20年間
ほぼ変わっていない

④四国中央市立三島東中学校のキャリア教育の取組

5月 「えひめジョブチャレンジ」事前研修（2時間）

- 1時間目 社会人基礎力についての学習、やりたい仕事を発見するプログラム中心
- 2時間目 ビジネスマナー中心の学習

7月 「えひめジョブチャレンジ」体験

中学2年生が地域の事業所で5日間の職場体験を実施

えひめジョブチャレンジU-15

愛媛県の県内全公立中学校で行う職場体験学習。県知事主導の事業。

2月 「少年の日」記念行事

- 記念授業として、学校内で企業説明会を実施
- 18事業所が参加し、生徒は2社を選び体験する

少年の日（愛媛県独自の行事）

2月4日に14歳（元服に由来）になった中学生を祝い、成長の区切りとして記念行事を行う。

横内先生は、5月の事前研修での講師や、2月の企業説明会の参加企業の選出やその調整役として積極的に学校のキャリア教育活動にかかわっている。

（2）演習「三島東中学校 えひめジョブチャレンジ事前研修」体験

①「志望する職種」を見つける個人ワーク

仕事に関する質問項目から「やりたい」、「できそう」と思うものをチェックして、その集計数をグラフ化し、自分に向いている仕事を自己分析する。

②「自分のやりたい仕事を発見するワークシート」個人ワーク

マイベスト動詞（使う、研究する、計算する等）を3つまで書き出し、それを名詞（教科、スポーツ、遊び等）と組み合わせ、そこから仕事内容を導き出すことで、興味が持てる仕事が浮かびあがってくる。

5. 今年度の成果と課題

<成果>

- ・今回の講演や演習を通して、「えひめジョブチャレンジ U-15」や「少年の日」事業といった愛媛県全域でキャリア教育に関する行事が実施されていることを知った。
- ・横内博之先生が関わっている三島東中学校では、職場体験に向けて、事前に研修を行うことや、「少年の日」事業の中で、企業説明会を実施するといったキャリア教育がより効果的になるような実践がされており、学校と企業をつなぐファシリテーターの役割の重要性を知ることができた。

<課題>

- ・会員数や参加校数が少なく、講師と近い距離で活発な意見交流を行えたが、各校の取組や実践交流が少ないというのは課題である。
- ・また、小中学校教員が顔を合わせて意見交換ができる貴重な場であるが、小学校の参加数がほとんどない現状では、小中間でのキャリア教育の活発な交流ができず、双方の現状や成果、求めているものといった、接続的な研究につながらない。